

## 令和4年度 学校経営計画及び学校評価

### 1 めざす学校像

「誠実明朗」「自主創造」「友情協力」の校訓のもと、明るく健康で、自らを高め、他人を尊重する人間性豊かな人格の形成をめざす。生徒と教職員の信頼関係をもとにした専門教育を通じて、勤労と責任を重んじ、幅広い技術を備えた社会人を育成する。

- 1 基礎学力と専門的な技能・技術を修得し、社会の中で主体的に生きる力を育てる。
- 2 協調性、規範意識を身につけ、周囲から求められる社会人を育てる。
- 3 地域社会の中での存在意識を高め、生徒が誇りをもてる学校づくりを進める。

### 2 中期的目標

#### 1 社会の中で主体的に生きる力を育てる

##### (1) 基礎的・基本的な学力の育成

- ア ICT活用を進め、基礎学力の充実を図る。
- イ 授業内容・授業形態の工夫により授業改善を図り、確かな学力を身につけさせる。

※生徒向け学校教育自己診断における「授業に関する満足度」の令和6年度肯定率80%以上をめざす。(R01年度81.8%、R02年度64.1%、R03年度85.3%)

##### (2) 資格取得に対する意欲を高め、主体的に自己の将来を切り拓く能力を育成

- ア 各種の資格取得を勧め、学習意欲の喚起と有用な技能修得を図る。

※令和6年度も卒業生の資格取得率100%(一人一つ以上)を維持する。(R01年度100%、R02年度100%、R03年度100%)

##### (3) 在学中の就労を促進するとともに、生徒の希望する進路実現の支援体制の充実

- ア 未就労生徒に対して、個別指導と個別支援による就労促進を行う。
- イ キャリア教育、職業教育を充実させ、社会で自立できる力を育成する。
- ウ 自己の個性や適性を理解し、主体的に進路を選択する能力や態度を育成する。

※学校斡旋就職を支援し、令和6年度も正規就職希望者90%以上、就職内定率100%をめざす。

(正規就職希望者 R01年度100%、R02年度100%、R03年度100% / 就職内定率 R01年度100%、R02年度100%、R03年度89%)

#### 2 周囲から尊敬される社会人を育てる

##### (1) 授業規律の確立

- ア 組織的な指導体制により、良好な学習環境と授業規律の確立を図る。

※生徒向け学校教育自己診断における「良好な学習環境」の令和6年度肯定率80%以上をめざす。(R01年度75.0%、R02年度76.9%、R03年度67.6%)

##### (2) 協調性や社会性の育成

- ア 魅力ある学校行事、部活動を振興し、学校生活の魅力高め、集団活動への参加促進を図る。
- イ SNS等インターネット上や学校生活及び感染症等に起因する偏見や差別を許さない人権を尊重する教育を推進する。

※令和6年度、1年次生の進級率90.0%以上をめざす。(R01年度61.5%、R02年度87.5%、R03年度87.5%)

#### 3 誇りをもてる学校づくり

##### (1) 地域連携を進め、学校への高い評価を獲得

- ア 地域活動・公開講座の実施など、地域から見える特色ある学校の取組みを推進する。

※生徒向け学校教育自己診断における「授業や部活動などで保護者や地域の人々が参加される機会がある」の令和6年度肯定率70%以上をめざす。  
(R01年度69.4%、R02年度—(参加機会なし)、R03年度—(参加機会なし))

##### (2) 広報活動により、学校の取組みを広く伝える

- ア 学校ホームページの充実、地域への広報を積極的に展開する。

※令和6年度、学校見学会等の参加者について、年間延べ50名以上を維持する。(R01年度60名、R02年度—(参加機会なし)、R03年度—(参加機会なし))

##### (3) 人材育成により、優れた教育の提供

- ア 生徒のニーズに合致した、特色ある教育課程と優れた指導体制づくりの構築。

※保護者向け学校教育自己診断における「本校の特色ある取組み」の令和6年度肯定率90%以上を維持する。(R01年度85.7%、R02年度100%、R03年度100%)

#### 4 働き方改革への取組み

##### (1) 分掌・委員会等の会議の目的を明確化し効率を図る

- ア 会議資料のデータ化、ICT活用による効率的な運営を図る。

##### (2) 定時退庁の促進、学校閉庁日の活用ならびに有効な休暇取得の促進

- ア 教職員の業務分担の平準化を図り、健康増進・ストレス軽減により、働きやすい職場環境を実現する。
- イ 各種ハラスメント防止に対する意識の啓発を図る。

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和 5 年1月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>○学校教育自己診断について *肯定率等(%)R02→R03→R04 「◎」「○」「△」は、数値または変化に対する学校の評価</p> <p>1 学校生活 ・この学校は他の学校にない特色がある 79.5→88.4→90.6 (◎) ・授業はわかりやすく楽しい 67.6→55.8→90.6 (◎) ※すべての生徒に対応できる授業改善の取組を恒常的に行う。</p> <p>2 学習指導 ・授業で自分の考えをまとめ発表する機会がある 64.1→55.9→68.8 (◎) ・教え方を工夫している先生が多い 77.0→67.7→86.7 (◎) ・ビデオ、スライドなどの視聴覚機器やコンピュータを使う機会がよくある 89.7→85.3→84.4 (△) ・授業などでコンピュータやプロジェクターを活用している (評価なし)→85.3→90.6 (◎) ・学校は1人1台端末を効果的に活用している (評価なし)→(評価なし)→84.4 ※1人1台端末の利活用及び授業改善を図る。生徒が主体的・対話的に深い学びのある授業をめざすための工夫について、継続して、オンライン授業委員会を中心に取組む。</p> <p>3 生徒指導 ・先生はお互いに協力し合い、責任をもって授業やその他の仕事に当たっている。76.9→88.2→92.2(◎)</p> <p>4 進路指導 ・将来の進路や生き方について考える機会がある 76.9→79.5→87.5 (◎) ・学校は進路についての情報を提供している 84.6→88.3→96.9 (◎) ※キャリア教育を中心に据えた進路指導、個に応じた指導の再構築を図る。</p> <p>5 その他 ・学校で事件・地震や火災などが起こった場合、どう行動したらよいか知らされている 66.7→76.5→81.3(◎) ・【保護者】学校は保護者や地域の人が授業に参加する機会を設けている。77.7→80.0→100 (◎) ・【保護者】この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。(機会なし)→(機会なし)→40.0 (○)</p>	<p>第1回(令和4年6月22日) ・1人1台端末を活用して、基礎学力が上がったのかどうか?デジタル教科書を利用しないのか? ・授業アンケートは、どのように活用しているのか?</p> <p>第2回(令和4年11月25日) ・スクールミッション(案)について、このミッションは長年にわたり変更しないものだと思うので、系列名を記載していると、もし系列名が変わったりしたときに、大丈夫なのか? ・スクールミッション(案)について、「勤労と責任を重んじ、幅広い技術を備えた社会人を育成する」とあるが、進学がほぼ半分なので、別の内容でもよいのではないかと? ・スクールミッション(案)について、定時制のスクールミッションなので、定時制をもっと前に出したほうがよいのではないかと? ・</p> <p>第3回(令和5年2月3日) ・令和5年度学校経営計画にある「学習指導要領に基づく三つの資質・能力」とは、具体的には何か? また、学習指導要領が改正され、生徒の育成が変わったのであれば、本校では、実際に、どのように教育を変えていくのか?変わったのか?を、また、少しずつでもいいので報告してください。</p>

## 3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R3年度値]	自己評価
1 社会の中で主体的に生きる力を育てる	<p>(1)基礎的・基本的な学力の育成 ア ICTの効果的な活用と基礎学力の充実</p> <p>イ 授業改善による確かな学力の獲得</p> <p>(2)資格取得に対する意欲を高め、自己の将来を切り拓く能力の育成 ア 各種の資格取得を勧め、学習意欲の喚起と有用な技能取得を図る。</p> <p>(3)正規就労の拡大 ア 個別の指導・支援による就労指導</p>	<p>(1)ア・ICT機器の活用により、主体的・対話的な授業となるよう授業改善を行う。教材の共有化を図り、授業準備等の業務効率化を図る。 ・授業において確認テスト等を実施し、基礎学力の定着をめざす。</p> <p>イ・生徒の学習意欲を喚起するよう、わかる授業・できる授業をめざし、振り返り学習による学力の定着を図る。</p> <p>(2)ア・溶接技術、CAD、計算技術等、授業内容と関連する資格取得への講習及び個別指導の充実を図る。 ・3級自動車整備士試験合格をめざし、講習の充実を図る。</p> <p>(3)ア・求人開拓、個別指導を継続的に実施・強化し、正規就職に向けた支援を行う。 ・将来のキャリアを見通した進学指導を行う。</p>	<p>(1)ア・1人1台端末を利用した、主体的・対話的な公開研究授業を、校内で6回以上、校外へも2回以上実施する。また、生徒向け学校教育自己診断「授業などでコンピュータやプロジェクターを活用している」における肯定率 80%以上を維持。[85.3%] ・生徒向け学校教育自己診断「授業が楽しくわかりやすい」における肯定率 70%以上をめざす。[67.6%] イ・教員向け学校教育自己診断「思考力を重視した問題解決的な学習指導を行っている」における肯定率 80%以上をめざす。[76.2%] ・教員向け学校教育自己診断「生徒の学習意欲に応じて、学習指導の方法や内容について工夫している」における肯定率 90%以上を維持。[100%]</p> <p>(2)ア・各種資格取得を奨励し、資格取得生徒の増加を図る。卒業年次生の取得率 100%を維持。[100%] ・3級自動車整備士試験合格をめざす。(対象5名)[R03年度1名受験1名合格]</p> <p>(3)ア・応募前職場見学 100%維持 [100%] ・正規就職希望者 90%以上 [100%] ・就職内定率 90%以上 [89%] ・進学希望者の合格率 80%以上 [100%(3名)]</p>	<p>(1)ア・1人1台端末を利用した公開授業は、校内向け10回、校外向け4回実施。 (生徒向け学校教育自己診断)「授業などでコンピュータやプロジェクターを活用している」→肯定率 90.6% [85.3%]【○】 ・(生徒向け学校教育自己診断)「授業が楽しくわかりやすい」→肯定率 90.6% [67.6%]大幅に上昇【◎】</p> <p>イ・(教員向け学校教育自己診断)「思考力を重視した問題解決的な学習指導を行っている」→肯定率 85% [76.2%]【◎】 ・(教員向け学校教育自己診断)「生徒の学習意欲に応じて、学習指導の方法や内容について工夫している」→肯定率 87.5% [100%] 昨年度より低下したが、1人1台端末利用の新しい工夫を展開。【△】</p> <p>(2)ア・各種資格取得を奨励し、資格取得生徒の増加を図る。卒業年次生の取得率 100%を維持。→100% [100%]【○】 ・3級自動車整備士試験合格をめざす。→3名受験合格者3名 [1名受験1名合格] 3年連続 100%合格【◎】</p> <p>(3)ア・就職希望者の応募前職場見学の 100%維持 →100% [100%]【○】 ・就職希望者の正規雇用就職率 90%以上 → 100% [100%]【○】 ・就職内定率 90%以上 → 100% [89%]【○】 ・進学希望者の合格率 80%以上 → 75% [100%]【△】</p>
2 周囲から尊敬される社会人を育てる	<p>(1)授業規律の確立 ア 組織的な指導体制と良好な学習環境、授業規律の確立</p>	<p>(1)ア・全教職員による生活指導体制を確立し、良好な学習環境を維持する。 ・規範意識、社会性育成のための講座、ICT機器の利活用を通して情報活用能力等を養成し、社会人としてのマナーやモラルを主体的に身につけさせる。 ・高校生活支援カードを活用し、家庭及び中学校・外部機関との連携を深め、きめ細かい支援体制により学校生活への定着を図る。 ・中学校訪問等により教育内容の周知を図る。</p>	<p>(1)ア・生徒向け学校教育自己診断「授業でわからないことについて、先生に質問しやすい」における肯定率 80%以上を維持。[88.2%] ・生徒向け学校教育自己診断「先生は責任をもって授業やその他の仕事に当たっている」における肯定率 90%以上をめざす。[88.2%] 生徒向け学校教育自己診断「授業などで、豊かな心や人の生き方について考える機会がある」における肯定率 60%以上をめざす。[47.1%] ・欠席の多い生徒(年間30日以上)8名以下[14名] 年間退学者5名以下 [1名] 懲戒指導件数5件以下 [1件] 1年次生の進級率 70%以上 [87.5%] ・中高連絡会、中学校訪問30校以上を維持。[40校]</p>	<p>(1)ア・(生徒向け学校教育自己診断)「授業でわからないことについて、先生に質問しやすい」→肯定率 90.4% [88.2%]【○】 ・(生徒向け学校教育自己診断)「先生は責任をもって授業やその他の仕事に当たっている」→肯定率 100%。[88.2%]【○】 (生徒向け学校教育自己診断)「授業などで、豊かな心や人の生き方について考える機会がある」 →肯定率 78.1% [47.1%]大幅に上昇した【◎】 ・欠席の多い生徒(年間30日以上)8名以下 →15名 長欠生徒へのきめ細やかな粘り強い対応を継続するべき。【△】 年間退学者5名以下 → 1名 [1名]【○】 懲戒指導件数5件以下 →2件[1件]【○】 1年次生の進級率 70%以上 →71% [87.5%]昨年度より減少したが目標は達成。【○】 ・中高連絡会、中学校訪問30校以上 →中高連絡会5校、中学校訪問27校 計32校 [40校]【○】</p>

	<p>イ 生徒が主体的に授業に参加し、集中して取り組む姿勢を育成</p> <p>(2)協調性や社会性の育成</p> <p>ア 学校生活の魅力を高め、集団生活への参加を促進</p>	<p>イ・授業中の発表や話し合いの機会を設け意見交流の重要性や他者と共同する態度を育成する。</p> <p>(2)ア・部活動への積極的な参加を促し、個人または集団での行動範囲を広げ、学校生活の充実を図る。</p> <p>・生徒秋季発表大会への参加により、生徒の能力を引き出す</p>	<p>イ・生徒向け学校教育自己診断「授業で自分の考えをまとめたり、発表したりする機会がある」における肯定率 60%以上をめざす。[55.9%]</p> <p>(2)ア・生徒向け学校教育自己診断「部活動に積極的に取り組んでいる」における肯定率 50%以上をめざす。[35.3%]</p> <p>・運動部の定通総体出場をめざす。[不参加]</p> <p>・生徒秋季発表大会への参加を維持。</p> <p>・生活体験発表 [不参加] ・舞台発表 [不参加]</p> <p>・展示発表 [写真部3名出展]</p>	<p>イ・(生徒向け学校教育自己診断)「授業で自分の考えをまとめたり、発表したりする機会がある」→肯定率 68.8% [55.9%]【◎】</p> <p>(2)ア・(生徒向け学校教育自己診断)「部活動に積極的に取り組んでいる」→肯定率 59.4% [35.3%] 【○】</p> <p>・運動部の定通総体出場をめざす。→【△】[不参加]</p> <p>・生徒秋季発表大会への参加を維持。→参加【○】</p> <p>「生活体験発表」→不参加 ・「舞台発表」→不参加</p> <p>「展示発表」→写真4名、美術9名、書道1名出展 [写真部3名]</p>
3 誇りをもてる学校づくり	<p>(1)地域連携の促進</p> <p>ア 地域から見える特色ある学校の取組みを推進。</p> <p>(2)広報活動の展開</p> <p>ア 学校の特色を広く伝える活動を展開。</p> <p>(3)優れた教育環境の提供</p> <p>ア 生徒のニーズに合致した特色ある教育課程と指導体制づくり</p>	<p>(1)ア・地域連携活動について、生徒会にて活動内容を検討する。</p> <p>・小学生対象の「夏休み工作教室」実施。</p> <p>・市内幼稚園等への実習作品の寄贈の継続。</p> <p>・「スクール・ミッション」および「スクール・ポリシー」の策定に向け、PTにて検討。</p> <p>(2)ア・学校行事を保護者および地域に公開し、広報活動を展開する。</p> <p>・保護者・生徒のニーズに合致した学校ホームページ等の改善。</p> <p>(3)ア・工業系科目の充実を図り、生徒が意欲的に取組める教材を適切に選択する。</p> <p>・授業相互見学、研究授業参加、研修派遣等を実施し、授業力向上と授業改善を図り、優れた学習環境をめざす。</p> <p>・各種会議を通して、生徒状況を共有し、生活指導に活かす。</p>	<p>(1)ア・生徒向け学校教育自己診断「授業や部活動などで、保護者や地域の人々とかかわる機会がある。」における肯定率 70%以上をめざす。[—](感染症拡大により参加機会なし)</p> <p>・「夏休み工作教室」の参加者 20 名以上。[—](感染症拡大により中止)</p> <p>・実習作品(木製ベンチ)の寄贈5件以上を維持。[10 園 15 台]</p> <p>(2)ア・学校行事(球技大会・文化祭)等への保護者・地域住民の参加者延べ 50 名以上を維持。[—](感染症拡大により参加機会なし)</p> <p>・保護者向け学校教育自己診断「授業参観などの学校行事に参加した」における肯定率 70%以上をめざす。[—](感染症拡大により参加機会なし)</p> <p>・ホームページ更新(教員・准校長ブログ発信を含む)による情報発信年間 80 回以上を維持。[83 回]</p> <p>・ホームページの全面的な改善をし、保護者向け「学校教育自己診断「ホームページをよく見る」における肯定率 40%以上をめざす。[36.4%]</p> <p>(3)ア・生徒向け学校教育自己診断「この学校には、他の学校にない特色がある」における肯定率 85%以上を維持。[85.3%]</p> <p>・保護者向け学校教育自己診断「この学校には、他の学校にない特色ある教育活動に取り組んでいる」における肯定率 90%以上を維持。[100%]</p> <p>・教員向け学校教育自己診断「学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている」における肯定率 90%以上を維持。[90.9%]</p> <p>・教員向け学校教育自己診断「学校内で他の教員の授業を見学する機会がある」における肯定率 90%をめざす。[82.6%]</p> <p>・教員向け学校教育自己診断「各種会議が、教職員間の情報交換の場として有効に機能している」における肯定率 90%以上を維持。[91.3%]</p>	<p>(1)ア・(生徒向け学校教育自己診断)「授業や部活動などで、保護者や地域の人々とかかわる機会がある。」→肯定率 73.3% [—] 【○】</p> <p>・近隣小学生対象の「夏休み工作教室」参加者 20 名以上[—] → 昨年同様コロナ感染症拡大により中止[—]</p> <p>・実習作品(木製ベンチ)の寄贈5件以上を維持。 → 5園 10 台[10 園 15 台]【○】</p> <p>・「スクール・ミッション」「スクール・ポリシー」を校内PTにて策定し、運営委員会で議論を重ねた。【○】</p> <p>(2)ア・学校行事(球技大会・文化祭)等への保護者・地域住民の参加者延べ 50 名以上を維持。 51 名 [—] 【○】</p> <p>・(保護者向け学校教育自己診断)「授業参観などの学校行事に参加した」 → 肯定率 40% [—] 参加したくても参加できなかった保護者が多数。参加機会を増やすべき【△】</p> <p>・ホームページ更新(教員・准校長ブログ発信を含む)による情報発信 →81 回 [83 回] 【○】</p> <p>・ホームページを創立記念日にリニューアル。(保護者向け学校教育自己診断)「ホームページをよく見る」 →肯定率 40% [36.4%] 【○】</p> <p>(3)ア・(生徒向け学校教育自己診断)「この学校には、他の学校にない特色がある」 →肯定率 90.3% [85.3%] 【○】</p> <p>・(保護者向け学校教育自己診断)「この学校には、他の学校にない特色ある教育活動に取り組んでいる」 →肯定率 77.8% [100%] 目標値に達していないが、(生徒向け)は昨年度より増加、授業参観の機会を増やすべき。【○】</p> <p>・(教員向け学校教育自己診断)「学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている」における肯定率 80% [90.9%] 目標に達しなかったが、日常的な話し合いよりも、会議での議論が活発化。【○】</p> <p>・(教員向け学校教育自己診断)「学校内で他の教員の授業を見学する機会がある」 →肯定率 81.3% [82.6%] 公開授業も増加したが昨年度より減少。授業の関係で見学できない教員多数なので計画的に授業見学を実施しなければならない。【△】</p> <p>・(教員向け学校教育自己診断)「各種会議が、教職員間の情報交換の場として有効に機能している」 →肯定率 68.8% [91.3%] 会議での、情報交換は減少したが、議論が活発化。今後、議論と情報交換の両方を効率的に実施しなければならない。【△】</p>
4 働き方改	<p>(1)会議目的を明確化し効率化を図る</p> <p>ア 会議資料のデータ化、ICT利用による効率的な運営</p>	<p>(1)ア・情報共有を進め、ICT 利用による業務の効率化を図る。</p>	<p>(1)ア・教員向け学校教育自己診断「各分掌や学年間の連携が円滑に行われ、有効に機能している」における肯定率 90%以上をめざす。[86.4%]</p>	<p>(1)ア・(教員向け学校教育自己診断)「各分掌や学年間の連携が円滑に行われ、有効に機能している」 →肯定率 62.5% [86.4%]</p> <p>ICT 利用による校務の効率化を推進するとともに、有効な教育活動のために、円滑な連携をする体制を確立しなければならない。【△】</p>

<p>革 へ の 取 組 み</p>	<p>(2)定時退庁の促進及び有 効な休暇取得の促進 ア 働きやすい職場環境 づくり</p> <p>イ 各種ハラスメント防止 に対する意識の啓発</p>	<p>(2)ア・分掌等の業務分散化を図り、ストレ ス軽減・健康増進に向け、働きやす い職場環境を実現する。</p> <p>イ・各種ハラスメントについて、日常的に 注意喚起し、責任ある行動を求める。</p>	<p>(2)ア・教員向け学校教育自己診断「教職員の適正・能力に応じた 校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取 り組める環境 がある」における肯定率 90%以上をめざす。 [78.3%]</p> <p>イ・教員向け学校教育自己診断「教職員間の相互理解がなされ、信 頼関係に基づいて教育活動 が行われている」における肯定率 90%以上を 維持。[90.9%]</p> <p>・教員向け学校教育自己診断「この職場において、教職員の服務 規律への自覚が高い」に おける肯定率 100%をめざす。[90.9%]</p>	<p>(2)ア・(教員向け学校教育自己診断)「教職員の適正・能力に応じた 校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取 り組める環境にある」→肯定率 56.3% [78.3%] 教職員が意欲的に 取り組めるように、校務の適切に分担をする組織としなければな らない。【△】</p> <p>イ・(教員向け学校教育自己診断)「教職員間の相互理解がなされ、 信頼関係に基づいて教育活動 が行われている」 →肯定率 56.3%[90.9%] 校内研修を実施し、教職員間の相互理解 と信頼関係を向上させていかなければならない。【△】</p> <p>・(教員向け学校教育自己診断)「この職場において、教職員の 服務規律への自覚が高い」→肯定率 68.8% [90.9%] 服務違反は 無いが、校内研修を実施し、職場での服務意識向上に努めなけ ればならない。【△】</p>
--	--	--	---	--